

【ADHDへの対応例①】

つらい思いを減らすために

ADHDの生徒の中には、不注意や衝動性などの特性によってトラブルを起こし、自他ともにつらい思いをしてきた生徒がいます。次のような対応をすることで、つらい思いをする生徒を減らしていきたいものです。

◆黒板周辺を整理し、注意すべき対象以外（不必要なもの）は取り除いておく。

◆一度に多くのことを伝えず、1つのことを簡潔に伝える。複数指示する場合は、



◆創作活動など長時間かかる活動は、作業内容を細かく区切り1つの作業を終えるごとに達成感が感じられるようにする。